

～ 平成 30 年 日 P 研究大会新潟大会のシンボルマークの募集結果について ～

シンボルマーク募集にあたり、新潟県下の小中学校よりたくさんの作品を送っていただき、ありがとうございました。

どれも作者の新潟愛がこもった力作揃いで、選考委員も入賞作品を絞り込むことに悩みました。

結果下記の 6 作品が選ばれました。

<選考結果>

最優秀賞（1 点）	新発田市立本丸中学校	板 倉 萌 夏 さん（1 年生）
佳 作（5 点）	五泉市立川東中学校	五十嵐 結 さん（2 年生）
//	長岡市立阪之上小学校	金 内 瑞 希 さん（6 年生）
//	長岡市立福戸小学校	渡 辺 さくら さん（5 年生）
//	長岡市立青葉台小学校	宮 下 月 希 さん（4 年生）
//	弥彦村立弥彦中学校	本 間 叶 笑 さん（1 年生）

参加賞（132 点）

応募総数 138 点

<選考会講評>

新潟の様々なイメージを用いて丁寧に表現された県内小中学校による応募作品 138 点が集まり、最優秀賞 1 点、佳作 5 点を選ぶ選考会が開催されました。

選考にあたっては、シンボルマークとして機能を考え、発想力・メッセージ性・シンプルでありながらマークとしての強さがあることを基準に審査を進め、受賞作品を選考していきました。

最優秀賞に選考された作品は、稲穂の形状を巧みに用いながら、朱鷺の親子を優しく包み込むハートマークで構成された作品でした。新潟らしいモチーフと柔らかい色彩で表現されており、地域の子どもたちを支援する PTA 活動にふさわしい点が高い評価となりました。

新潟大学教育学部芸術環境講座 橋本 学 准教授

受賞作品の紹介



最優秀賞：板倉 萌夏 さん（新発田市立本丸中学校 1 年生）

＜シンボルマークの説明＞

未来を担う子どもたちへの愛を表現しています。トキの親子は、大人が子どもを育てる思いを表現しています。新潟県の花、チューリップの花言葉は「思いやり」です。思いやりのある子どもたちに育ててもらいたい願いがあります。コシヒカリでPTAの輪を表現しました。



佳作：五十嵐 結 さん（五泉市立川東中学校 2 年生）

＜シンボルマークの説明＞

このマークは新潟の誰もが知っている、トキを取り入れて、下のほうの様子は稲穂とお米にしました。稲穂の隣のラインは水をイメージしました。



佳作：金内 瑞希 さん（長岡市立阪之上小学校 6 年生）

＜シンボルマークの説明＞

このマークは、未来を考え、学校を建てた小林虎三郎の象徴米だわらと親子のトキです。なぜ親子にしたかという、未来には絶滅を1回したトキが、もっと数をふやしているといいな、と思ったからです。県の花であるチューリップも入れました。トキやチューリップ、米だわらは、金色に縁取りました。

佳 作：渡辺 さくら さん（長岡市立福戸小学校 5 年生）

<シンボルマークの説明>

ふちをお米にしたのは、新潟の有名な物だからで、真ん中に書いてある文字の水色の意味は、信濃川の色を表しました。



佳 作：宮下 月希 さん（長岡市立青葉台小学校 4 年生）

<シンボルマークの説明>

新潟で手を取りあって、新潟のトキがまうこの地で、話し合い、語り合
って、なかよく大会に集いましょうをイメージして、手を取りあうをあ
く手であらわしました。指さす手は、この地というイメージです。



佳 作：本間 叶笑 さん（弥彦村立弥彦中学校 1 年生）

<シンボルマークの説明>

4 つに分けて、新潟の有名なものをいっぱいかきました。
「Niigata」の文字もいろいろな色をつかってカラフルにしました。